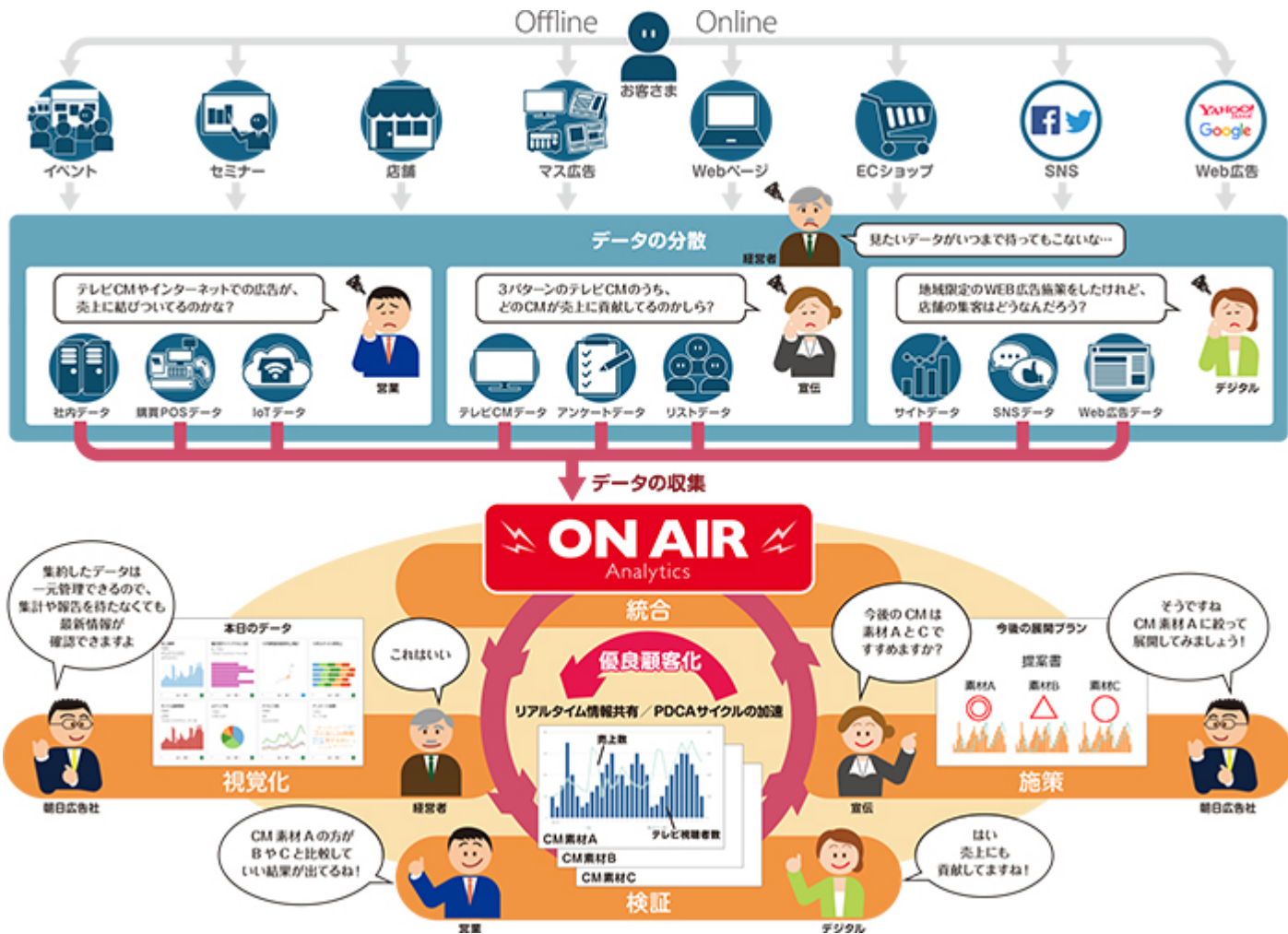


企業の各種マーケティングデータを統合・可視化する
CMO・部門長向け管理プラットフォーム

「ON AIR Analytics」



「ON AIR Analytics」の全体像
企業データの横断的な統合と、それによってもたらされる業務アクションのイメージ

「ON AIR Analytics」は、企業内で管理する売上やPOSデータ、来店客数などの各種データに、生活者のオンライン上の行動データやテレビCMのメタデータを連携することで、企業のマーケティング施策の効果をリアルタイムに統合・可視化し共有できる環境を構築します。

それにより、企業内のデータ作成業務の軽減と新たな課題の発見につなげ、マーケティング施策のPDCAの高速化及びROASの改善を実現します。

「ON AIR Analytics」の特長

- 【組織内共有】データの一括管理・可視化・共有により作業軽減と社内の情報格差を是正
- 【リアルタイム】リアルタイムなデータ更新により、PDCA高速化を可能に
- 【オン・オフ統合】テレビCMを中心としたマス広告とデジタル、リアル流通の統合分析ができる
- 【拡張性】社内・社外ネットワーク上のデータベースを自動連携可能に

テレビCMをはじめ、様々なオフライン広告を効果測定

複雑化するマーケティング環境の中で企業には、必要なビジネスデータを効果的に共有し、現場のPDCAサイクルや経営者、決裁者の意思決定のスピードを加速することが求められています。「ON AIR Analytics」は、この課題を解決する革新的なプラットフォームです。

例えば、企業がマーケティング施策として実施するテレビCMの放映時間とオンライン上の検索数やSNSの反応数の統合分析による効果測定をはじめ、企業が持つPOSデータなども取り込むことで、売上に対するテレビCMの貢献度がリアルタイム※に測定・評価できます。※最短60分ごとのデータ更新が可能です

また、新聞広告や交通広告なども掲載日を起点に測定・評価が可能となります。

散在する各種データをクラウド型管理プラットフォームに統合・可視化することで、企業内でリアルタイムに共有が図れ、従来は多くの時間を必要としていたキャンペーン後の効果測定作業が画期的に軽減されます。

このように、メーカーに必要な各種データを一元的に管理する環境を構築することで、将来にわたり企業の生産性と業績の向上に貢献いたします。

IoTデータもマーケティングに活用できる

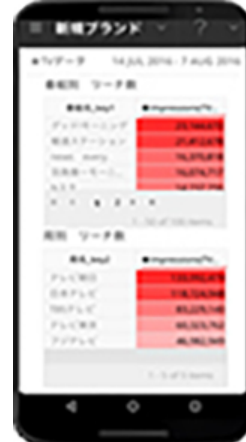
今後デジタルの領域ではAPIの導入が加速し、業種を問わず様々なデータがオープン化されることが予測され、自社にとって有用なデータをいち早くマーケティングに活用することが重要となっていきます。

本プラットフォームは、将来的にAIスピーカーの普及や、2020年の商用サービス開始を目指す5GにおけるテレビCMのプランニング対応ツールとしても活用できます。

ダッシュボード管理画面イメージ



PC画面



アプリ画面 (iOS・Android)